



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.8

2010.8.25 (No.2605)

第2560地区ガバナー／東山 昕也  
会 長／樺山 仁  
会長エレクト／山田 富義(クラブ奉仕A)  
副 会 長／杉山 幸英(クラブ奉仕B)  
幹 事／明田川 賢一  
S A A／若槻八十彦  
会 計／松永 一義

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(^はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

■本日の出席会員数:55名中38名  
■先々週出席率:82.69%

【先週のメイクアップ】

- [8.19] 三条ローターアクトへ  
・樺山 仁さん
- [8.21] 財団セミナー(上越)へ  
・小出子恵出さん
- [8.24] 三条北RCへ  
・西川文夫さん、渡邊喜彦さん  
・丸山行彦さん、菊池 涉さん  
・山田富義さん、中村和彦さん  
・五十嵐浩さん、加藤紋次郎さん  
・藤田紘一さん



「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010～2011年度国際ロータリーのテーマ

「芙蓉」



## 会長挨拶

樺山 仁会長



御挨拶致します。

三条の地元商工会をしょって立つ商工会議所の執行部も、いよいよ我がクラブの齋藤さんが、取りまとめの要をする事の様です。

渡辺さんも長期間に渡り要職を務められ、次期の齋藤さんはバイタリティの塊の様な方で、ぜひに三条の我々商工業の羅針盤を掲げ、活性化の道筋をつけて頂きたいと願っております。

会員一同全員で協力させて頂きますので、よろしくお願い致します。

新潟明訓も素晴らしい試合を見せてくれましたが、ベスト4の夢は叶えられませんでした。夏の高校生のプレーには元気をもらいました。

ところで今日は、植物の中で塩分に弱いという一般常識をくつがえす『マングローブ』の木についてお話しします。

南の島に行きますと海水の中に木が植えられ、緑の色を濃くしております。なぜ塩分のある所で、植物が成長できるのでしょうか。

そもそもマングローブは個別の種という名前ではなく、潮の満ち引きにより塩水を定期的にかぶりながら成長する樹木の

総称です。マングローブと呼ばれる植物は100種くらいあると言われ、ヒルギ科、シクンシ科にまたがっております。

塩分に強い世界的な分布がされているヒルギダマシは、葉に備えた塩類腺のしくみによって、体外へ過剰な塩分を排出します。

沖縄の八重山諸島に多く生育するヤエヤマヒルギは、根で塩分を濾過し、塩の吸収をおさえる仕組みを持っているようです。

マングローブを見ると、根元がタコ足のように根が張って、面白い形状をしています。潮が引いた泥もやわらかく軟弱ですから、しっかり立てるように根を張っている訳です。

このマングローブは、環境の豊かさを進め、高波、高潮などの災害を防ぐために大切なものとなっているようです。

現在では、世界的にも民間や企業によって、マングローブの植林が試みられております。

今日はマングローブについてお話ししました。

挨拶を終わります。

## 幹事報告

### 明田川賢一 幹事

◎東山ガバナー事務所より、ロータリーレート変更のご案内が届いております。

9月1日より1ドル86円（現行88円）

◎植木直前ガバナー事務所より、「事務局閉鎖のお知らせ」

閉鎖日 8月26日（木）

## ニコニコBOX

樺山 仁さん

暑さも最後の様にしてもらいたい日々です。

来週はIMです。よろしくご協力願います。

斎藤弘文さん

三条商工会議所の次期会頭予定者に先の常議員会で選任されました。

熊倉昌平さん

斎藤弘文さんの会議所会頭としてのご活躍に期待しております。

北山さん、卓話ありがとうございます。

丸山行彦さん

ゴルフ同好会の一泊コンペは楽しいゴルフでした。

北山さん、卓話ご苦労様です。

小出子恵出さん

皆様、残暑お見舞申し上げます。

ゴルフをやられる方ご苦労様です。お気を付けを。

山田富義さん

8月19日、三条クラブのコンペ。今年初めてクラブを握りました。練習しない方が結果良好でした。

北山さん、卓話ありがとうございます。

中村和彦さん

先週RCのコンペで久しぶりにプービー賞をいただきました。

北山さん、卓話楽しみにしています。

小越憲泰さん

先週19・20日の二日間、ゴルフ同好会で妙高高原で楽しいゴルフをして来ました。段取りをしていたいただいた丸山さん、杉山さん、ありがとうございます。

藤田紘一さん

暑い日が続きます。ご自愛ください。

北山会員、卓話ご苦労様です。

船越正夫さん、松永一義さん、高橋 司さん、

若槻八十彦さん、会田二郎さん、杉山幸英さん、

佐藤純二さん、明田川賢一さん、伊藤寛一さん、

荻根澤隆雄さん、浅野金治さん、歸山 肇さん

北山裕史会員、卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

8月25日分 ￥31,000

今年度累計 ￥236,000

## 9月のお祝い

◎会員誕生祝

6日 渡辺勝利さん

13日 杉山幸英さん

19日 外山雅也さん

20日 山田富義さん

◎夫人誕生祝

22日 斎藤昌子さん（弘文さん）

◎結婚記念祝

24日 渡辺良一さん（ひとみさん）

◎100%出席賞

15年 山田富義さん

12年 渡邊喜彦さん

5年 小出子恵出さん





## 卓 話

### 「2度敬遠された男」



#### 北山裕史 会員

先日夏の甲子園が終わり、新潟県代表の新潟明訓がベスト8に進み、昨年の日本文理に続く見事な成績を収めました。今日はあこがれの甲子園を目指し、日夜ライバルと闘っていた一人の少年の話をいたします。

時は今から27年前、第65回全国高等学校野球選手権大会群馬県大会、場所は群馬県営敷島球場。ベスト8に進出した2校の準々決勝での激突です。春夏合わせて甲子園出場26回を誇る名門桐生高校と強豪前橋工業の白熱した投手戦は、8回の表を終わって両チーム無得点で、8回の裏前橋工業の攻撃。ヒットとフォアボールでチャンスをつかみ、2死2、3塁、バッテリーボックスには、好打者3番黒沢君が入ります。桐生高校のピッチャーはエース岡部君。ここまで前橋工業を3安打に抑えています。ピンチを迎えています。「ピッチャーが投げました、打ったあー」、詰まった当たりですが、打球は3塁手の前で大きく跳ねて、レフト前に転がるタイムリーヒット。3塁ランナーに続き、2塁ランナーもホームイン。ついに均衡は破れ、前橋工業が2点を取りました。

いよいよ最終回、桐生高校の攻撃。4番岡部君が倒れ、5番バッテリーがバッテリーボックスに向かいます。「ここで桐生高校は代打を送ります。バッテリー北山君に代わり、粉山君。」今大会9打数1安打と不振が続いていた私は、代打を送られ3塁コーチーズボックスへ。「ピッチャー渡辺君、粉山君に対し投げました。打ったあー。」打球は左中間を破り、フェンスまで点々と転がります。「打ったバッテリーは2塁回って3塁へ、ショートが中継に入り、ボールは3塁へ。ヘッドスライディング、セーフ。」桐生高校が反撃に出ます。続く6番小林君が、初球の真っすぐを打ち返し、センター前ヒット。1点を返し、2対1となりました。そして2年生の高草木君が、カーブに泳ぎながらもセカンドの頭を越えるセンター前ヒットで、1死1、2塁。桐生高校は同点そして逆転のチャンスを迎えました。しかし8番金子君の代打、中島君は前橋工業のエース渡辺君の140kmを超える高めの速球にあえなく三振。2死1、2塁。いよいよクライマックスを迎えたのです。「9番石島君に代わり、バッテリー山道君。」場内アナウンスが流れると3塁コーチャーに出ていた私はベ

ンチに呼ばれ、コーチを務めていた甲子園出場経験のある和田先輩に「初球を狙わせろ！」と指示を受け、伝令に走りました。「ここでキャプテンの北山君がバッテリーの山道君に指示を伝えています。」その時私は、すでに汗と涙で顔はクシャクシャだったのを今でも覚えています。

「さあ、大詰め9回の表桐生高校の攻撃は、1点を返し2死1、2塁。得点は2対1わずかに前橋工業がリード。ピッチャー渡辺君、振りかぶって第1級を投げました。バッテリー山道君、初球から打ちに行った。打ったあー。」その瞬間見上げた私の眼には真夏の太陽が入り込み、一瞬ボールの行方を見失いました。「ショートフライ、試合終了。前橋工業が桐生高校を破り、ベスト4に進出いたしました。」この瞬間私の甲子園出場は夢と散ったのでした。「前橋工業渡辺君8安打を打たれましたが、桐生高校を1点に抑え、甲子園まであと2勝となりました。」

この渡辺投手こそ、皆様もご存じの現在、埼玉西武ライオンズ渡辺久信監督なのです。1年生で夏の甲子園に出場し、3年生最後の夏も優勝候補筆頭でした。私の母校の雨天練習場には、「目指せ！甲子園」「打倒 前工」「打倒 渡辺」の垂れ幕が、3年間ずっとかかっていた。

彼との初めての出会いは、小学校6年の時でした。若獅子旗争奪少年野球群馬県大会の決勝戦でした。桐生市立南小学校の児童で編成された私の所属するオール南子供会と新里ジュニアの対決。私のチームはダークホース的な存在でしたが、身長164cmで当時背の高かった私はピッチャーで4番を打っていました。4試合を勝ち抜き、いよいよ決勝。その対戦チームのピッチャーが渡辺投手だったので。私よりも背が高く、そしていかつい顔。背の大きい選手が多く、いかにも強そうな相手でした。

試合が始まり、初回。ランナーをおいて私に打順が回ってきました。初めて対戦するチーム、そして当時からボールの早いピッチャーとして有名だった渡辺投手。打席に入り、私は無我夢中でした。外角低めのストレートでした。思いっきり振り抜いた打球は、セカンドの横を抜け、右中間を破りました。3塁打。今であればガッツポーズをしているところですが、当時はどうしたかは記憶にありません。ただ思いっきり走ったことだけは覚えています。回は進み、第2打席を迎えた私は、前の打席以上に力んでいたことは確かです。ランナーが得点圏にいてチャンスでの打席でした。そんな私に後ろにいるキャッチャーが立っていることなど全く気が付くはずもありません。



んでした。渡辺投手が投げた第1球。外角高めに大きく外す敬遠ボール。しかし、何と私は打ちにいてしまい空振り。その瞬間、ベンチの監督からは「バカヤロー」の声。何が起ってしまったのか、呆然と立ち尽くしてしまいました。2球目、やはり敬遠ボール。しかし、わずかに体は動いてしまいました。そして3球目その時は来たのです。同じ外角高めにはずしたボール。思いっきり振り下ろしたバットは、もの見事に敬遠ボールを真っ芯で捕らえました。打球は左中間を深々と破るタイムリー、またもやすりベース。元阪神の新庄が、数年前に敬遠ボールを狙いさよならヒットを打った時、新庄はあの時と同じ気持ちだ、絶対狙っていると私が感じたのは過言ではありません。

結局この試合、4対1で私は投げ勝ち、優勝、群馬県一に輝いたのです。表彰式の際、大会事務局の方から個人表彰について聞かれたのを覚えています。実はこの大会、打つ方でも私は絶好調で何と16打数13安打の打率.813で、最優秀選手、最優秀投手、打撃賞の内どれが欲しいですかということでした。私は間髪入れずに最優秀投手賞を選びました。やはり何とんでも渡辺投手に投げ勝ったという勲章が欲しかったのだと思います。

それから中学に進学した私は桐生南中、一方渡辺投手は新里中でしたが、なかなか試合をする機会がなく、中学3年の最後の夏の大会前に初めて練習試合で戦いました。中学に入学後も渡辺投手は剛速球投手として名を広めており、身長も180cmに達していました。私はというと桐生市13校の中では無敵で、春の桐生市の大会で優勝し、夏の大会に向け、気合いも入っていました。新里中への遠征でしたが、到着後、練習風景を見た私は、あっと驚かされた記憶があります。マウンドから数メートル前からピッチャーが投げ、速球派？の私対策の練習をしていたのです。

試合が始まり、先行は桐生南中。先頭打者が出塁し、チャンスで4番の私に打順が回ってきました。実は小学校では右打ちでしたが、中学校に入りすぐに私は左打ちに転向しました。右投げでピッチャーをやっていた為か、バットのヘッドがピッチャー寄りに入ってしまう癖があり、また利き目が右ということもあり、スムーズにバットが出て、ボールを捕らえやすいということで、イチロー並の、いや昔で言えば元巨人の篠塚タイプのバッターへと自称ですが、変わっていたのです。恐らく渡辺投手は、北山という名前は覚えていても、左バッターの私は知らなかったと思います。初回の2死、2塁。なっ、何と渡辺投手は私

を敬遠したのです。さすがに中学に入り、選球眼の良くなった？私は一度も振ることなく、1塁へと歩きました。結局初回は無得点。第2打席は先頭打者として私は打席に入りました。甲子園での松井ではないのですから、この打席は真っ向勝負です。やはり渡辺投手のボールは速かった。ファールでねばった後でしたが、最後に内角高めを剛速球で責められ、ドン詰まりのセカンドフライに倒れました。その後も三振こそしませんでした。ヒットは打てませんでした。投げる方という初回から打ち込まれ、終わってみれば7対0。全く勝負になりませんでした。

その後、中学の夏の大会では、桐生市の決勝戦まで進みましたが、指のマメを潰し、得意のカーブを投げることができずに敗戦。県大会で渡辺投手と対戦することもできませんでした。高校進学に際し、実は東京の早稲田実業、栃木の作新学院からも誘いの連絡が、学校には入ったようですが、北山は名門桐生高校に行き、甲子園に行きたいとの職員室の先生方の思惑で、最後までその話は私に教えてはくれませんでした。(親は知っていたと思うのですが)

そんな経緯も知らず、滑り止めの学校も受けさせてもらえず、普通受験で何とか合格し、甲子園を夢みる高校生活が始まったのでした。(後で1年の担任の先生に聞いたのですが、受験の成績は合格者315人中271番だったとのこと。冷や冷やものでした。)

それからは明けても暮れても甲子園を目指し、野球、野球の日々でした。1年の夏からベンチ入りはしましたが、レギュラーになったのは秋の大会からでピッチャーではなく、センターを守りました。打順は3番から始まり、1番、それから4番となり、最後は5番打者で、守備はピッチャー兼センターとして、練習試合も含めると高校時代の半分の試合は投げました。しかし、チームとしては群馬県大会で1年の秋、2年の春ベスト8、夏は2回戦で負け、秋はまたベスト8止まり。最終学年の3年の春もベスト8で、冒頭の最後の試合を迎えることになったのです。

最後の夏の大会を終え、私は早稲田大学を目指し、野球を続けるために受験勉強に励みました。野球での推薦入学も考えましたが、私の学年の5年前に春夏連続甲子園出場を果たした先輩、木暮投手が在籍した早稲田で野球をやりたいとの思いで一杯でした。そして早稲田大学の野球のセレクションを受け、約130名の参加者から最後の30名に残ることができました。受験前の1週間は早稲田大学野球部の寮に缶詰になり、試験対策までやりましたが、当時スポーツ推薦については全国大会ベスト4以上という制限

があり、一般受験で結局浪人し、東京の予備校へ進むことになりました。

一方、渡辺投手は皆様もご存知のとおり、西武ライオンズにドラフト1位指名で入団し、華々しいプロの世界でエースとして大活躍をしました。一時代を築いた後、彼はヤクルト、そして台湾へと渡り引退。その後、現在の監督という立場になり、今年も優勝争いを繰り広げています。

私はというと一浪をしても、早稲田には合格できず、その段階で野球を辞める決断をしました。これまで野球を続け、高校生活も坊主頭で過ごした硬派だった少年が、東京の大学へ進み、都会の生活で徐々に軟派な人間に変わっていったことはいまでもありません。しかしながらこれまでと違う別の世界が開け、アルバイト等を通じ接客することの楽しさを知りました。その後、近畿日本ツーリストに入社し、現在まで22年が経ち、途中2度の転勤を経験して、三条には延べ12年お世話になっています。

小学校からのライバル渡辺投手とは、雲泥の差がついてしまいましたが、私も4月より支店長を拝命し、一つ階段を上ることができたのかなと思います。彼とはもう別世界を歩み、全く次元の違う生活を送っていますが、私の小学校4年生時の担任であった恩師高沢先生が、卒業の際に私に送ってくれた言葉、「最後に笑う者になれ」という私の座右の銘をいつも心に置きながら、人生の最後には渡辺投手以上に笑って終われる一生でありたいと日々精進しています。

本日、お話いたしましたことは、全て事実、記録に基づいたノンフィクションであり、登場した個人名、学校名は、架空のものではなく、実在するものであり、許可なく使用させていただきました。

最後になりますが、私のような若輩者の話に耳を傾けていただき、メンバーの皆様には感謝申し上げますとともに、今後ともお付き合いくださいますようお願い申し上げます。



## 三条ロータリークラブゴルフ同好会 第56回大会

三条ロータリークラブゴルフ同好会恒例の遠征ゴルフ大会が8月19日妙高高原ゴルフ倶楽部で開催されました。連日の猛暑の中、日差しは強いながらも時折吹く風は心地よく、絶好のゴルフ日和でした。

宿泊は朝日山荘で美味しい酒をたらふく飲み、翌日有志6名が赤倉ゴルフコースでゴルフを楽しみました。



優勝	西川 文夫
準優勝	渡辺 勝利
第3位	山田 富義
第4位	小越 憲泰
第5位	斎藤 弘文
第6位	杉山 幸英
第7位	渡邊 喜彦
第8位	丸山 行彦
第9位	中村 和彦
第10位	石橋 育於

次週例会 9月15日 卓話 高橋尚樹 会員

次々週例会 9月22日 東山昸也ガバナー公式訪問  
PM12:30~3:00 於 三信本店

